

みんなで被災地の頑張りを応援しよう

震災被災者支援ニュース

余震揺れ震度6(宮城)

4月7日午後11時32分福島でも震度5

コープふくしま支援レポート4日目(4/7)

福島支援4日目となりました。今日から3日間はコープふくしま あだたら店での作業です。

今日は震災復興商品がたくさんありますので、そのプライスカード貼り、被災組合員への安否確認電話かけを行いました。あだたら店は割と大きな店舗で、商品もたくさん陳列されています。この地域はほとんど被害がなかったと聞きました。

午後から安否確認の電話かけを行いました。ケガの有無や住宅被害の有無をお聞きしました。ケガや住宅被害がある方へは共済の案内も行います。

75件ほど電話掛を行いました。連絡がついた方は全員無事でした。ほとんどの方が住宅被害も物が落ちてきた程度でしたが、中には屋根瓦が崩れた、壁にひびが入った、窓ガラスが割れたという方もいました。岩が落ちてきて屋根に穴が開いたという方も一人いました。その方はJA共済の給付があるようです。電話を掛けると丁寧にお礼をおっしゃられる方も多かったです。

今朝、作業店舗へ向かう時に小学校の集団登校を見ました。皆マスクをしていました。子供へのマスクは徹底されているようです。2人とも元気なのですが、崎濱は今朝から腰に痛みが走り、徐々にひどくなってしまいました。昨日少し無理したのかもしれませんが、持病の腰痛です。歩く事もまならなくなってきたので途中で病院へ走りました。診察と薬、コルセットで何とかしのぎました。面目ありません。



コープふくしま支援レポート5日目(4/8)

昨夜はとでも激しく長い地震を体験しました。こちらに来てから初めての大きな揺れです。地震発生直後に皆が起きて、しばらく状況を見守るといった様子でした。地震がおさまってからそれぞれが携帯で電話を掛けたり、メールをしたりしましたがどのキャリアもなかなか繋がりませんでした。ただiPhoneからTwitterで普通にツイートは出来ました。夜中の地震となると逃げるとか安全を確保するという事が困難なように感じました。

では本日の作業報告です。

今日も作業店舗は昨日と同じ『あだたら店』でした。ゼリーの品出し後、昨日と同じ安否確認の電話掛を午前から行いました。2人あわせて228件にかけました。昨日と合わせると303件です。実際につながる方は50%ほどでした。昨夜に大きな地震があったため恐怖を口にされる方が多かったです。ほとんどの方が怪我も家屋の被害もなかったのが幸いでした。

予定されているリスト全部に電話掛もできたため、その後はまた日用品の品出しをして終わりました。

被災地はこれから雨になるようです。帰りの道中では黒い雲がひろがっていました。関西でも見ますがこちらで見る黒い雲はもっと不気味でした。雨に濡れるのは気を付けた方がよさそうです。

以上報告終わります。

全国大学生協連

心身の苦痛を和らげていただくために
「被災された学生のための

健康相談ダイヤル」を開設

被災された学生のための健康相談ダイヤル

今回の震災では多くの方が亡くなりましたが、一命をとりとめた方もご親族を亡くされたり、ご自身が受けた被害により、心身共に苦痛を抱えていらっしゃると思います。

そのような状況に鑑み、全国大学生協連および大学生協共済連では、当会に加入されている生協のある大学の学生とその家族の方を対象に、4月11日より「被災された学生のための健康相談ダイヤル」を、ダイヤル・サービス株式会社様の協力も得て、開設することとしました。

体調を崩し、震災のショックのため心に傷を負われた学生やその家族の方からの相談に、専門家が24時間対応で相談に乗ります。

<健康相談ダイヤルについて>

■番号：「被災された学生のための健康相談ダイヤル」

番号：0120-556-765

陸前高田市 高田高校へ辞書を送ろう

新入生の保護者からうれしいお電話

8日午後6時前に今年から子どもが京都工芸繊維大学に通うことになったという太田さん(仮名)とおっしゃる山口県の保護者の方からお電話がありました。

「息子が今年から京都の大学にお世話になりますが、貴生協(事業連合・京滋・奈良ブロック)のホームページをみていたら『岩手の高校生に辞書を送ろう』と言う記事を見つけ、是非送らせてください。うちは双子なので2冊あります。電子辞書を主に使っていたので、紙の辞書は比較的きれいです。」とのお話をいただきました。遠い地でも今回の提起を受け止めていただいていることに心を動かされます。

これからいろんなところから連絡がくることが予想されます。みなさん短期間の取り組みですが、どんどん広げていきましょう。

(From足田)